

課題が見られた問題例 (B活用)

【B活用 1 三】

相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に話すこと (条件作文)

(話すこと・聞くこと、書くこと：記述式)

**問題概要**  
作家の大岡玲さんと女優の壇ふみさんの対談「美しい日本語とは」を読んで、あなたは、これからどのような言葉の使い方をしたいと考えるか。条件1から条件3にしたがって、具体的に書いて書くこと。

条件1 対談で大岡さん、壇さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書くこと。  
条件2 これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。  
条件3 八十文字以上、百二十文字以内で書くこと。

**正答例** 「残していききたいと思う美しい言葉は、個々人が積極的に使うべきです。」という大岡さんの発言に納得した。先日、本を読んでいて「たおやか」という言葉を初めて知り、やわらかくて美しい言葉だと思った。このような美しい言葉を積極的に使いたい。

要因分析

正答率【19.0%/19.7%】 無解答率【16.2%/13.9%】  
・「これから使っていきたい言葉の例を挙げていない」「発言の内容に関する感想に終始している」「対談のどの発言の内容を取り上げているのが明確に分からない」など与えられた三つの条件を満たしていない。  
・過去に「自分の立場や意図を明確にして話し合うこと」H21 小学校国語 B2【26.2%/25.7%】でも課題が見られた。

指導上の工夫

自分の考えを具体例を挙げて話す学習活動

- ・対話や討論などの内容を基に自分の考えを表現する際には、話し手の考えに対する賛否などを示すだけでなく、自分の体験や読書の経験などに基づいた具体例を挙げるなどして、自分の考えを分かりやすく表現するような学習活動を取り入れることが大切である。
- ・互いの発表を聞き合い、発表の内容を構成、記述の仕方などについて意見を交流することが重要である。
- ・参考資料：「授業アイディア例」P3～4

繰り返し指導のポイント

小学校低学年  
大事なことを落とさないようにしながら、興味を持って聞く。

小学校中学年  
話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。

小学校高学年  
話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

中学校  
必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。

話の中心・話し手の意図に注意しながら聞き、自分の考えと比べたり、事柄を順序立て構成を工夫しながら話したりすること

【B活用 2 三】

資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くこと (条件作文)

(書くこと、読むこと：記述式)

**問題概要**  
デジタルカメラの使用説明書を条件1から条件2にしたがって、祖母向けに分かりやすく書き換えなさい。

条件1 「緑」「赤」「ピピッ」という言葉をすべて使って書くこと。  
条件2 六十文字以上、八十文字以内で書くこと。

① 撮りたいものにカメラを向けて、指が止まるまで軽くボタンを押します。

②

③ ②でピントが合ったら、指を離さずに、ボタンを静かに最後まで押すと、「カシャッ」と音がして写真が撮れます。

**正答例** ピントが合うと「ピピッ」と音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないと四角い枠が赤になるので、指を離してからもう一度押してください。

要因分析

正答率【67.1%/68.4%】 無解答率【9.2%/8.1%】  
・「使用説明書」から必要な内容を抜き出すことに課題がある。  
・「緑」「赤」「ピピッ」という指定された語句の全て、または一部が用いられていない。  
・過去に「目的や意図に応じて事象や意見を関連付けて書くこと」H21 B1【56.7%/59.1%】、H22 A9【60.3%/60.9%】でも課題が見られた。

指導上の工夫

相手や目的に応じて伝えたい事柄が明確に伝わるように書く学習活動

- ・伝えたい情報を正確に理解した上で整理し、それが効果的に伝わるように説明する順序を考えたり、図表を用いたりするなどの工夫をすることが大切である。
- ・実際に書いた文章を相手の立場に立って読み返し、推敲することが重要である。

繰り返し指導のポイント

小学校低学年  
語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書く。

小学校中学年  
目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。

小学校高学年  
目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。

中学校  
相手に効果的に伝わるように、説明を加えたり、描写を工夫したりして書く。

読み手に自分の考えや気持ちを的確に伝えるために、根拠となる事柄や具体例(図表など)を適切に示して書くこと